

# 庁舎整備基本構想及び基本計画の見直しについて

本市では、平成25年に策定した庁舎整備基本構想及び基本計画について次のとおり見直しを行いました。

## 1. 見直しの経緯

今回の見直しは、仮庁舎の賃借期限が令和6年度末までであり、令和7年度からの新庁舎供用開始を目指すには、早期に整備計画を進めていく必要があることから、上位計画の「木更津市公共施設等総合管理計画」等との整合を図り、平成25年に策定した庁舎整備基本構想及び基本計画についての課題や条件を整理し、必要とされる諸機能、規模、配置、事業手法などの検討を行ったものです。

## 2. 見直しのポイント

- (1) 木更津駅周辺庁舎に市民交流スペース等の複合施設を設置。
- (2) 整備候補地は「旧庁舎跡地」から「木更津駅周辺と朝日庁舎周辺の2か所」に見直した。
- (3) 賃借面積を約12,000㎡とした。
- (4) 事業手法は建設(PFI(BTO)方式)から、賃借(民間施設の一部)に見直した。

詳細は、別紙のとおりです。

## (見直し内容対照表)

平成25年策定の基本構想・基本計画	令和2年改訂(見直し)
① 基本理念	
1 地域の特徴を活かした市民に親しまれる開かれた庁舎 2 市民の安心・安全な暮らしを支える庁舎 3 将来の変化に対応可能で効率的な運営のできる庁舎 4 地球環境に配慮し、ライフサイクルコストを縮減できる庁舎	1 官民連携による未来を見据えたフレキシブルな庁舎 2 市民に親しまれる開かれた庁舎 3 市民の安心・安全な暮らしを支える庁舎 4 働き方改革に対応し、人や環境に優しい庁舎
② 機能	
窓機能、執務機能、市民協働機能、議会機能、防災・防犯機能、環境共生 の6機能	窓機能、事務室機能、市民協働機能、議会機能 防災機能、施設管理機能 の6機能 複合施設として、木更津駅周辺庁舎に市民交流スペース等設置
③ 整備候補地	
「用地、建物の費用の縮減性」「他の施設との連携」を重要視し旧庁舎跡地	公共施設再配置基礎調査、市民の声、これからの市庁舎の考え方を受けて「市民・法人にとって使い勝手がよい」「他の施設との複合化」の観点から現在の仮庁舎と同様に木更津駅周辺及び朝日庁舎周辺の2か所に分庁
④ 規模(面積・職員数)	
延床面積 約18,000㎡ 職員数 約577人	賃借面積 約12,000㎡ ※複合化される市民交流スペース等は含んでいない 〈仮庁舎と同組織とした場合〉 ・木更津駅周辺庁舎 約4,000㎡ 約150人 ・朝日庁舎周辺庁舎 約8,000㎡ 約500人
⑤ 事業手法	
建設(PFI(BTO)方式)	賃借(民間施設の一部)
⑥ 概算事業費(税抜)	
整備費：約81億円(建築工事費、外構工事等含む) ※最近事例を参考 整備費：約106億円(建築工事費、外構工事等含む) 維持管理費等を含め総額 15年間 約143億5千万円 30年間 約222億円	賃借料 約4,000～7,000円/坪・月 賃借料に維持管理費等を含め総額 15年間 約61億5千万円～約81億1千万円 30年間 約115億9千万円～約155億2千万円
⑦ スケジュール	
平成28年度末で本庁舎竣工	仮庁舎の賃借期間満了の令和6年度末までに移転